



さんないまるやま つうしん

第 3 号

平成 8 年 12 月 5 日

青森県教育庁文化課

三内丸山遺跡対策室

〒030 青森市新町 2 丁目 3-1  
TEL (0177) 22-1111 (内5251-2)  
FAX (0177) 77-5077

三内丸山遺跡対策室 松原分室

〒030 青森市松原 1 丁目 14-11  
TEL (0177) 74-0455  
FAX (0177) 74-0456

# 三内丸山通信

## 三内丸山遺跡最新情報

### ●土坑墓(大人のお墓)列三五五メートルに達する

れます。出土遺物は多量の土器のほか、石器、土偶、骨刀、漆器、ヒトの歯二点(四〇代の男性の臼歯、乳児の臼歯)などが出土しています。

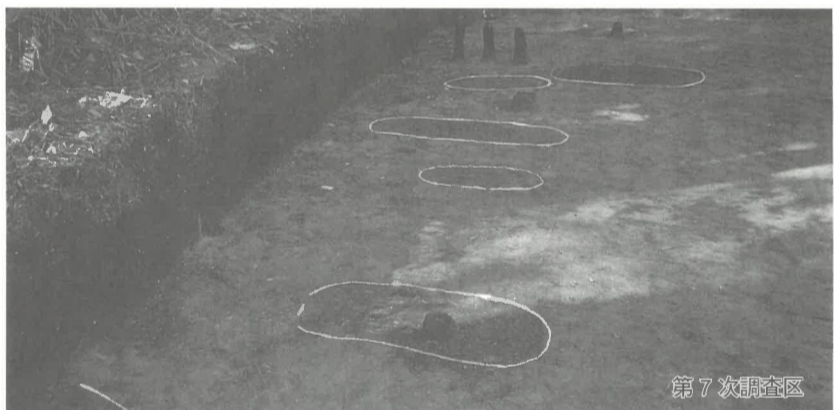


平成八年度は三地点を調査しました。

第五次調査区では、平坦部から掘立柱建物の柱穴が見つかり、谷へ向かう斜面からは竪穴住居跡や、南の谷の近くでは貯蔵穴などが見つかりました。いずれも、縄文時代中期後半から終り頃(四、五〇〇年前から四、〇〇〇年前)のもので、南地区への集落の広がりが明らかになりました。第六次調査区では、遺物廃棄ブロック(棄て場)の調査を行いました。調査の結果、縄文時代中期後半から中期の棄て場が見つかり、中央の谷から台地の縁に沿って約二七〇メートル続いていると考えら



るものと期待されます。第七次調査区では、お墓の列の東端を確認するため調査を行いました。その結果、お墓の列は二列に分かれて約三五五メートル続いていることがわかりました。列の間は若干低くなっており、道として使われたのではないかと考えられます。墓は台地の途切れる緩やかな斜面まで延びています。これ程大規模なお墓の列は他に例がなく、集落の規模・姿を具体的に知る上で、大変貴重なものといえるでしょう。



縄文人は身近な材料を上手に工夫しながらいろいろなものを生み出しました。



体験学習を  
やってみませんか

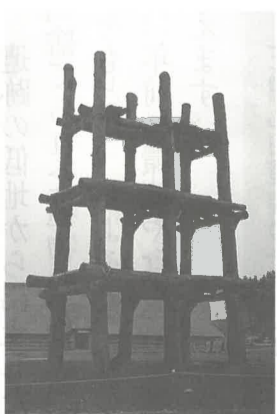
縄文人は身近な材料を上手に工夫しながらいろいろなものを生み出しました。

大型掘立柱建物が  
復元されました

大型掘立柱建物が十一月八日に完成しました。

この建物は、平成六年七月に発見された大型掘立柱建物跡の柱穴の様子、土質調査の結果から、高さ十四・七メートルの床をもつ建物として進められました。

復元に当たっては、ロシアから到着したクリの巨木六本の中でも、最大の長さ十七メートルの巨木を曳く「御柱木曳き式」が行われ、



工事の安全が祈願されました。

そんな知恵や技術に触れてみませんか。  
時間は午前十時から午後三時まで。参加料は材料費として一回五〇〇円程度です。  
日程は次のとおりです。  
●十二月十四日(土)  
編布作り 出土品を参考に、道具をつかって編み方を体験します。  
●十一月十一日(土)  
編布作り 出土品を参考に、道具をつかって編み方を体験します。  
お申し込み電話番号は  
〇一七七一二二二二一  
内線五二五二まで



# 行って来ました 東アジア関連 遺跡調査

三内丸山遺跡対策室では今年六月末から七月上旬にかけて中国東北部の遺跡の現地踏査を行いました。これは三内丸山遺跡を含む東アジアの同時代の文化を比較検討することを目的としています。その第一弾として最近狩猟採集文化の大規模な遺跡の発見があった中国の内モンゴル自治区、遼寧省を中心に行いました。



興隆窪遺跡出土土器

査海（さかい）遺跡は遼寧省にある、約七〇〇〇年前の遺跡です。ここからは住居跡、墓などが見つかっています。また龍の形をした配石遺構も見つかっています。

興隆窪（こうりゅうわ）遺跡は、内モンゴル自治区に所在する、今から約八〇〇〇年前の定住型の大規模集落跡です。溝で囲まれた中からたくさんの方穴住居跡が発見されています。



新築遺跡



査海遺跡博物館

牛河梁（ぎゅうかりょう）遺跡では、多くの人々の共同作業によって大規模な石積み遺構がたくさん作られました。この他にも遼寧省新樂（しんら）遺跡や西安市半坡（はんぱ）遺跡も訪問しました。今回の調査で、三内丸山遺跡から出土する円筒土器と非常に良く似た土器がたくさんつくられていたこと、すでに狩猟採集文化の定住生活が営まれていたことがわかりました。また、大陸との交流があった可能性も考えられます。

## 三内丸山 縄文 フォーラム '96



去る十月四日、青森市文

化会館で三内丸山遺跡縄文フォーラム'96「縄文人の一生、その生活と交流」が行われ、一、二〇〇人以上の人々が熱心に耳を傾けまし

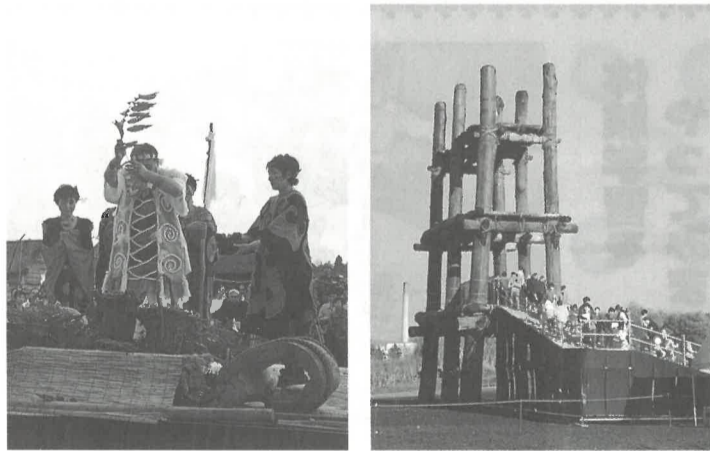
## 大好評でした 縄文フェスタ'96

去る11月10日、三内丸山遺跡内において、「活彩あおもり 三内丸山・縄文フェスタ'96」を開催しました。

この「縄文フェスタ」は、遺跡を楽しんでもらうことを目的に開催しており、今年度で2回目となります。

当日は、晴れ間がわずかにのぞく天気でしたが、遺跡の公開以降最高となる9,300人の方々が訪れました。竣工式を迎えた大型掘立柱建物への登陸をはじめ、火おこし体験・ポシエツづくりなどの体験コーナー、アイヌ民族や沖縄地方の民族音楽による縄文音楽祭など多数のイベントが催されました。

縄文食をほおぼりながら、1日いっぱい、縄文人になりきっていました。

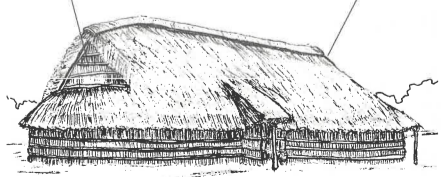


三内丸山通信第2号連載に誤りがありましたので訂正します。

(正)

入母屋造り

寄せ棟造り



復元大型方穴住居

パネルディスカッションでは、縄文人の一生を振り返りながら、当時の社会を推定しました。

## 情報展

十二月から始まる情報展は食がテーマです。

遺跡の低地から出土した「捨てられた植物の実や種」をもとに、およそ五、五〇〇年前の環境や食生活を考えます。

### 三内丸山遺跡のごあんない

●見学時間 9:00～16:30

(入場は16:00まで)

ボランティアガイドの定時説明は11月30日をもって終了します。

●休館日 年末年始

(平成8年12月27日から平成9年1月6日まで)

●交通手段 市営バス

青森駅から運転免許センター行き  
三内丸山遺跡前